

# 楷

第八十二号

岡山大学  
図書館報

OKAYAMA UNIVERSITY  
LIBRARY BULLETIN

KAI  
No.82

2026  
MARCH



<写真>

門出たけ

サイハイタケトモ云  
靈芝ノ類ナリ

「備前国備中国之内領内産物絵図帳」（岡山大学図書館所蔵池田家文庫より）

—目 次—

- 大学図書館と「公共知」～公共知共創オフィスのこれから～  
（岡山大学図書館 公共知共創オフィス長 佐藤 千春） …… p.2
- マスカット …… p.5  
2025年度岡山大学公開講座実施報告、「岡山 EXPO ラボ 2025—次世代と創る  
地域の未来—」開催報告、リサーチ・アドミニストレーション協議会第11回  
年次大会にて研究支援に関するポスター発表を実施、ほか
- 会議・研修・編集委員から …… p.15

# 大学図書館と「公共知」 ～公共知共創オフィスのこれから～

佐藤 千春

## 1. 図書館・公共知共創機構への改組と公共知共創オフィス新設

岡山大学は、学内の教育研究成果を広く社会に還元する機能を強化するため、附属図書館を改組し2025年10月1日に「図書館・公共知共創機構」（以下「機構」）を発足させた（なお、機構発足に先行して、2025年4月に図書館の名称を「附属図書館」から「岡山大学図書館」に変更している）。岡山大学図書館事務部は「図書館・公共知共創管理統括部」となり、大学本部で社会連携を担当していた研究・イノベーション共創管理統括部社会共創課から職員の一部（3名）を迎えて組織を再編した。これに伴い、課およびグループの名称も、図書館の新たな機能にふさわしいものに刷新した（図1）。

さらに、学内で社会との連携に深く関わってきた教員3名を迎え、本学「公共知」の拠点として岡山大学図書館に新設したのが「公共知共創オフィス」である。岡山大学図書館に専任の教員が着任するのは初めてのことである。また、教職協働の観点から、オフィス長に図書館職員（課長）が就いたことも新たな試みの一つである。専任教員と図書館職員が情報共有や意見交換を行いながら協働し、本学の「公共知」に取り組んでいく。

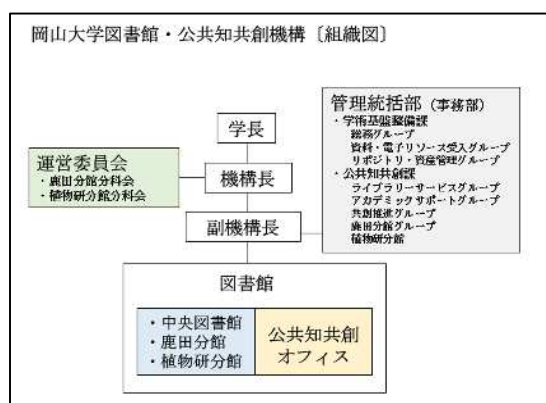


図1

## 2. 公共知共創オフィス教員の紹介

公共知共創オフィスは、3名の教員の活動を支え、大学の社会連携を推進する役割を担っている。ここでは各教員から自身の図書館との関わりや活動内容を紹介し、次章でオフィス設置の意義について考察する。

### ○岩淵 泰（岡山大学図書館 公共知共創オフィス 准教授）



図書館は思い出深い場所です。フランス・ボルドー政治学院に留学していた頃、指導教官は、朝から晩まで本を読む先生でした。バカンス以外は、図書館が開くと、先生がいました。フランス語はあまりわかりませんが、指導教官が与えた本は、ピエール・ロザンバロン著の革命から現代史の本でした。友人から「ヤスシ、日本人の君がなんでその本を読んでいるんだ？」と質問を受け、「指導教官から国の始まりがわからないと駄目だと言われたんだ」と答えました。「フランス人でも大変な宿題だな」と言われました。指導教官は厳しくも優しい人でした。図書館の時間は緊張もしました。しかし、一緒にいる時間こそ、留学で求めたものでした。指導教官の論文が少しずつ分ると、私の研究のなかに、国家と社

会、国家と地域の関係が構築されました。たまに、学内でカフェをごちそうになりました。今でも忘れられない味です。

市民参加の視点から地方政治やまちづくりを分析しています。可能な限り、学生たちと一緒にフィールドワークをするように心掛けています。図書館で授業が出来れば、本を探したり、地域史を発掘することができます。まちづくりにおいて図書館はますます大切な場所になっています。大学図書館は岡山大学のシンボルです。一冊でも二冊でも図書館で本を読んだんだという記憶は、学生生活に刻まれます。そこに、大学と地域、大学と世界をつなげたいです。あまり難しい話はしないので、気軽に声をかけてください。

### ○吉川 幸（岡山大学図書館 公共知共創オフィス 准教授）

活動の軸は「問いを立てる力」を育む教育や学びの場づくりです。大学卒業以来 24 年間、教育事業会社で中学・高校の教育を支援する企画開発業務に関わった後、本学に実践型教育プランナーとして入職し、インターンシップ等の社会連携型教育をコーディネートする業務を担当していました。働きながら大学院を修了し、現在はこれらの経験を土台として、地域と連携した実践型社会連携教育の開発・実行に取り組んでいます。とりわけ、学生が自ら課題を見だし、主体的に行動する学びを支えることを大切にしてきました。実践者、研究者、また、社会教育士やワークショップデザイナーとしての視点も持ち寄り、持続可能なまちづくり・ひとづくりを教育の側面から後押しすることが目標です。



公共知共創オフィスの一員として図書館について学ぶ中で、学生や教職員の学修・研究を支えるために、現場で細やかな工夫や判断が積み重ねられていることを知りました。利用者一人ひとりの状況を想像し、最善の環境を整えようとする姿勢に触れ、図書館が大学全体の知を静かに、かつ力強く支える「心臓部」であることを改めて実感しています。

今後は、学生の主体的な学びを支える基盤として、公共知共創オフィスとしてどのような実行為が可能か、対話を重ねてアップデートしていければと考えています。共に汗をかきながら、新しい図書館の可能性を形にしていければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

### ○床尾 あかね（岡山大学図書館 公共知共創オフィス 准教授（特任））



2023 年 10 月から岡山大学に着任しました。それまでは、東京の民間企業で、企業内シンクタンクの研究員として約 30 年間仕事をしてきました。これまでの経験を大学での研究活動により発展させ、「岡山大学と地域の組織団体との連携支援」に活かして行くことが目標です。

主な活動の一つ目は、「学都おかやま共創本部専任コーディネーター」としての各種会議体の運営です。代表的なものとして、「おかやま円卓会議」や「おかやま地域発展協議体」があげられます。2016 年に設立され、約 10 年間にわたって継続してきましたが、近年は、「SDGs の普及啓発活動」に加え、「人口減少問題」について議論や参加団体相互の情報共有などを行っています。二つ目は岡山県内の自治体や組織・団体と岡山大学の連携支援です。県北の「旧美作国地域」と岡山大学の連携・交流を目的とした「津山スクール」や、倉敷市を事務局とする「高梁川流域連携中枢都市圏ビジョン懇談会」等の支援に加え、個別自治体の委員会活動等にも参加しています。三

つ目は私自身の研究領域である「都市交通政策」に関連した研究や講演等です。2025年には、山陽新聞社主催の吉備の環シンポジウム「交通革命、前夜～移動手段をつなぎ、みんなを笑顔に～」での講演や、(一財)地域公共交通総合研究所等が主催する「公共交通経営者円卓会議2025～持続可能な公共交通実現のための「経営力+政策力+市民力」の発揮～」での司会などを務めました。

この度、大学図書館という活動の場をいただきました。「知の発信」や「地域と大学の共創」という役割を改めて意識しながら、地域社会の課題解決のお役に立ちたいと思っています。

### 3. 「公共知」とは何か

ところで、機構とオフィスの名称にある「公共知」（英語名称では「Public Knowledge」を採用）とは何であろうか。オンラインデータベース「JapanKnowledge」で検索してみると、2026年1月現在「Public Knowledge」は見出し語1件、用例1件があったが、「公共知」という見出し語はない（全文検索でもヒットしない）。「Public Knowledge」の見出し語があった英和辞典でも、「周知の事実」というごく一般的な定義のみであった。論文データベース等で「公共知」を検索してみると、学問分野によっては一定の共通理解が見られたが、一般の辞書類の見出し語として採用されるほどの「周知の事実」では未だないようである。

本学管理学則やオフィス内規では、機構やオフィスの目的を以下のように規定している。

- ・国立大学法人岡山大学管理学則（第27条（機構）第7項）  
図書館・公共知共創機構は、岡山大学図書館の運営を統括するとともに、岡山大学図書館を中核として学術・イノベーションの叡智や本学の教育研究の成果を広く公共に還元し、地域社会等との連携・協力・対話による取組等を通じて新たな公共知を創出していくことを目的とする。
  
- ・岡山大学図書館公共知共創オフィス内規（第2条（目的））  
オフィスは、学術成果を、広く社会で共有され活用されるものとして、広め若しくは共創する役割（以下「公共知機能」という。）を担うとともに、地域及び社会が抱える課題への対応を促進し、本学の教育研究成果等を社会へ還元することを目的とする。

つまり、本学における「公共知」とは、学内外の学術成果を広く社会へ発信し、それを地域や社会の課題解決に役立てながら「新たな公共知を創出していく」ことを指す。そして、その中核を担うのは図書館である。

館種を問わず、図書館の活動には多かれ少なかれこのような役割が含まれているが、大学図書館として、組織名に「公共知」を冠してこの目的に取り組むのは先駆的な試みである。「研究大学宣言」を行い国内の学術研究を先導する決意を示した本学は、その成果を社会に還元することも重要な責務として担う決意を、教員とともに図書館へ社会共創機能を集約する形で学内外に示した。オフィスの教員と図書館職員が社会と協働し、新たな価値を共創する岡山大学の「公共知」の試みとこれからの展開に、ぜひご期待いただきたい。

- ・図書館・公共知共創機構ウェブサイト：[https://www.lib.okayama-u.ac.jp/kyoso\\_kikou/](https://www.lib.okayama-u.ac.jp/kyoso_kikou/)
- ・公共知共創オフィスウェブサイト：[https://www.lib.okayama-u.ac.jp/kyoso\\_office/](https://www.lib.okayama-u.ac.jp/kyoso_office/)

（さとう・ちはる 岡山大学図書館 公共知共創オフィス長）

# マスカット

## 2025年度岡山大学公開講座実施報告

「新しい潮流 図書館が人びとの居場所や対話、活動の場になってきた」

日時：2025年11月28日（金）13：30～15：30

場所：岡山大学図書館 中央図書館 本館3Fセミナー室

講師：森田秀之氏（株式会社マナビノタネ代表取締役）

参加者：102名（会場参加+オンライン参加）

今年度の公開講座は、「図書館・公共知共創機構」の発足に合わせて、株式会社マナビノタネ代表取締役の森田秀之氏を講師に招き、「新しい潮流 図書館が人びとの居場所や対話、活動の場になってきた」と題して実施しました。

森田氏には、都城市立図書館やせんだいメディアテークなど、これまで運営等に関わってこられた国内の図書館やフィンランドの図書館の事例をご紹介いただきました。そのうえで、利用者が「自分たち事」として地域の課題に取り組める「コモン・プレイス」の大切さと、そしてそのための居場所の一つとして、多様な人々が緩やかにつながることのできる図書館の場づくりの重要性についてご講演いただきました。

パネルディスカッションでは、講師の森田秀之氏のほか、岡山大学公共知共創オフィスの吉川幸准教授、岩淵泰准教授にもご参加いただき、学習・研究の場でありながらも、学生が地域の方と交流しながら活動・表現できる「コモン・プレイス」としての大学図書館の在り方についての議論が交わされました。

当日は、会場参加とオンライン参加を合わせて102名の方にご参加いただき、参加者からは、「新しい図書館で、さまざまな人が交わり合い、社会との接点となる場になっていくように関わっていきたい」、「これまでの図書館の概念を覆すような取り組みが行われていることを知り、目からうろこが落ちる思いでした」などの感想をいただきました。



### 「東京大学・白波瀬教授との懇談会」実施報告

2025年10月8日（水）に共創イノベーションラボ（KIBINOVE：きびのべ）にて、東京大学農学生命科学研究科の白波瀬佐和子特任教授と本学学生との懇談会を実施し、約25名の学生が参加しました。

白波瀬教授は、社会学を専門とし、海外での経験や、女性のキャリアについての講演やアドバイスが、本学学生にとって将来を見つめ直す契機となりました。続く質疑応答でも、学生から積極的な質問が多数寄せられ、活発な意見交換がなされました。



### 「第28回おかやま地域発展協議体委員会」開催報告

2025年10月17日（金）に本部棟第一会議室にて、第28回おかやま地域発展協議体委員会を開催しました。

おかやま地域発展協議体は、2016年4月1日、岡山県の産（企業）・官（自治体）・学（大学）・金（金融機関）・言（マスコミ）の組織や団体が集い、一体となって岡山の持続的な発展を支える知恵と駆動力の源となることを目的に設置され、本学が事務局を担当しています。

委員会では、岡山県の喫緊の課題である「人口減少問題」について、各団体の取組、先に行われた「岡山県の人口問題に関する勉強会」等の報告をもとに、今後の本委員会の取り組み方について意見交換がなされました。

### 「岡山大学SDGsアンバサダー蒜山研修プログラム」実施報告

2025年11月8日（土）に、岡山大学SDGsアンバサダー蒜山研修プログラムを実施し、本学SDGsアンバサダーの中から14名が参加しました。

本研修は、地域資源の活用について体験を通して学び、持続可能な観光や暮らしに関して理解を深めることを目的としています。今回は、「SDGs未来都市」に選定されている真庭市で先進的な取り組みを行っている「ひるぜんジャージーランド」、「蒜山ハーブガーデンハービル」、「真庭市蒜山ミュージアム」を訪問し、SDGsに対する理解を深め、具体的な事例に触れることができた貴重な機会となりました。



## 「岡山 EXPO ラボ 2025—次世代と創る地域の未来—」開催報告



2025年12月20日(土)に、学生団体「OU!万博」(SDGs アンバサダー公認活動)が、「大阪・関西万博での学びを岡山へ届ける」こと、「『楽しい』を入口にウェルビーイングを考える」ことを目的とした「岡山 EXPO ラボ 2025—次世代と創る地域の未来—」を大学会館にて開催し、約900名の方が来場しました。

本イベントは10月に閉幕した大阪・関西万博の熱狂を「一過性のもの」で終わらせず、その学びや志を岡山へと継承する集大成の場として企画され、万博から受け取ったバトンを手、「『楽しい』を入口に、誰もが自分らしく輝ける未来社会」を、次世代が主体となって具体的に描き出す「ラボ(実験場)」として展開しました。

当日は、1階と2階の2つのステージで15団体以上がパフォーマンスを披露し、会場内では20を超える多彩なブースが出展しました。エンディングセレモニーでは、本学附属小学校と本学ダンス部が、万博テーマソングに合わせたパフォーマンスを披露し、最高潮の盛り上がりの中でイベントは幕を下ろしました。

## 内山工業株式会社とネーミングライツ・パートナー契約を締結

内山工業株式会社とネーミングライツ・パートナー契約を締結し、「中央図書館本館3階グループ学修室」の愛称が「UMC THINKAREA(ウチヤマシンカリア)」となりました。「ウチヤマシンカリア」は、「考える。シンカ(進化・深化・真価)する。『場』」として、名付けられました。契約期間は2025年11月1日～2035年10月31日の10年間です。

ネーミングライツ・パートナー契約は本学の施設等に愛称を付与することで、当該施設等の魅力向上を図り、本学および地域の活性化に貢献するものであり、さらに民間事業者と連携する機会を拡大することを目的としています。

「ウチヤマシンカリア」が学生の学習(学修)活動を通じて地域の活性化に貢献できる施設となるよう、活用していきます。



## 2025 年度池田家文庫絵図展報告

令和 7 年度池田家文庫絵図展「幕末維新期の池田家」

会 期 : 2025 年 10 月 4 日 (土) ~ 11 月 3 日 (月・祝)

会 場 : 岡山シティミュージアム 4 階企画展示室

令和 7 年度の池田家文庫絵図展は「幕末維新期の池田家」と題し、同時期における岡山藩と池田家の動向に焦点を当て、池田家文庫の収蔵品からは岡山藩・岡山城下の変化を示す絵図、幕末政局における岡山藩主の活動や他藩との関係を示す文書・書状などを、林原美術館の収蔵品からは岡山藩主ゆかりの資料 2 点を展示しました。

初日の 10 月 4 日 (土) には開会式および企画・監修を担当された本学の東野将伸社会文化科学学域 准教授によるオープニングトークを実施しました。

また、10 月 26 日 (日) には行田市郷土博物館 学芸員の澤村怜薫 氏による記念講演「幕末の岡山藩主 池田茂政のアーカイブズ：移動する人と文書の軌跡」を開催し、53 名の方々にご参加いただきました。池田家文庫には、水戸藩徳川斉昭の九男で、幕末に岡山藩主となる池田茂政が実家や他家に養子入りした時代の様々な古文書・記録が残されています。江戸から岡山まで移動してきた人と文書の軌跡について、参加者のみなさまは興味深く聴講していました。

会期中の来場者は、延べ 1,392 人となりました。来年度以降の池田家文庫絵図展もどうぞよろしく願いいたします。

展覧会の図録は岡山大学図書館の HP で、また展示した絵図類は池田家文庫絵図公開データベースシステムで閲覧可能ですので是非ご覧ください。



- ・岡山大学図書館 貴重資料 池田家文庫 <https://www.lib.okayama-u.ac.jp/collections/ikeda.html>
- ・池田家文庫絵図公開データベースシステム <https://ousar.lib.okayama-u.ac.jp/ikedake/ezu/ja>

## 「池田家文庫子ども向け岡山後楽園発見ワークショップ」実施報告

2026年2月15日（日）に岡山後楽園にて岡山大学図書館と教育学部の共催で「池田家文庫子ども向け岡山後楽園発見ワークショップ」を開催し、14名（小学生6名、同行者8名）の方にご参加いただきました。

参加者は、教育学部学生による紙芝居で後楽園の歴史を勉強した後、岡山大学図書館所蔵の〔御後園絵図〕の巨大絵図（複製）の上を歩いたり、グループに分かれて同縮小絵図（複製）を手に、自分たちで決めたルートで園内を回ったりして、絵図に描かれた昔の後楽園と現在の後楽園の違いを発見しました。最後にグループごとにそれぞれの発見を発表し、みんなで共有しました。

## リサーチ・アドミニストレーション協議会第11回年次大会にてポスター発表を実施

2025年10月21日（火）～10月22日（水）開催のリサーチ・アドミニストレーション協議会第11回年次大会へ当館職員2名が参加し、それぞれ研究支援に関するポスター発表を行いました。

### ・「研究者とURA・図書館が築くオープンアクセス：岡山大学図書館の研究支援事例」

2025年度からの競争的研究費における即時オープンアクセス（OA）義務化を見据え、図書館がURAと連携して構築した研究支援体制について報告しました。転換契約やAPC直接支援、学術成果リポジトリの活用などのOA支援に加え、研究者に最適な支援制度をマッチングするツールを開発し、効果的な研究支援を実現しています。

### ・「岡山大学図書館における人文系研究データデジタル化支援：OS時代に向けて図書館ができる研究支援業務」

2025年3月に図書館に開設した「電子化スタジオでんでん」の概要と、デジタル・ヒューマニティーズ分野への研究支援を目的とした人文系研究データのデジタル化支援について報告しました。紙媒体資料のデジタル化、IIIF対応のデジタルアーカイブ構築、そしてFAIR原則に基づいたデータ公開により、研究活動を支援していきます。



## エルゼビア社転換契約およびサブジェクトコレクション購読契約を開始

2025年4月より、エルゼビア社との間で、転換契約及びサブジェクトコレクション購読契約を開始しました。

岡山大学図書館では、2024年度末時点で6社との転換契約を締結し、岡山大学構成員の投稿論文のオープンアクセス出版に多数貢献しています。本契約の開始により、岡山大学の構成員は、エルゼビア社の指定するジャーナルでも、少ない著者負担金でのOA出版が可能になりました。

購読契約においては、サブジェクトコレクション（分野別コレクション）の購読を開始しました。この契約により、エルゼビア社の出版する Agricultural and Biological Sciences、Biochemistry, Genetics and Molecular Biology、Chemistry、Health Sciences、Materials Science の5分野に属する多くのジャーナルが学内から全文閲覧可能となりました。

- ・転換契約について <https://www.lib.okayama-u.ac.jp/support/apc.html>

## ブックハンティング実施報告

ブックハンティングは学生が図書館の蔵書に相応しいと思う本や、多くの学生の利用が期待できる本を選ぶイベントです。

資源植物科学研究所分館では選書システムを利用したオンラインブックハンティングを2025年11月17日（月）から12月8日（月）に開催しました。期間中2名（学生1名、教員1名）の方にご参加いただき、選んでいただいた6冊のうち、所蔵済みの資料を除いた5冊の本を購入しました。

## 学生・館長懇談会報告

中央図書館では、2025年12月19日（金）に、文学部、教育学部、教育学研究科、環境生命自然科学研究科の学生計7名の参加を得て、学生・館長懇談会を開催しました。この懇談会は、よりよいサービスの提供を目指して、学生から図書館利用についての意見や要望を直接お聞きするために実施するものです。この度の懇談会では学生から、資料の利用・施設の利用などについてさまざまな意見や要望をいただきました。図書館では、これら学生からの貴重な意見をもとに、サービス改善に取り組んでいきます。

## 拡大読書器・リーディングトラッカー提供開始

2026年2月より、中央図書館・鹿田分館では拡大読書器「クローバーブック」、読書補助具「リーディングトラッカー」を導入し、希望者に貸出しています。

主に視覚障害者（弱視や視野狭窄等）向けの器具ですが、どなたでもご利用いただけます。ご利用を希望される場合は各館のカウンターにお申し出ください。

## 図書館館内展示報告

### ○中央図書館

- ・グローバルエンゲージメントセンター展示「岡大生の夢 WE HAVE A DREAM」  
展示期間 : 2025年10月22日(水)～11月25日(火)  
展示場所 : 本館2F ムラタアカデミア
- ・企画展示「江戸時代の岡山藩：池田家文庫の世界」  
展示期間 : 2025年11月1日(土) 10:00～17:00  
展示場所 : 西館5階貴重資料展示室



### ・中央図書館ミニ展示報告



10-11月 生協寄贈図書



11月 宇宙・星空特集



11-12月 公開講座関連展示



1-2月 お正月・冬特集

・文学部学芸員課程企画展「便利のミカタ」

文学部学芸員課程の実習生たちが「あると便利なもの」という統一テーマのもと、ケースごとに企画テーマを設定しました。

企画1 「学生のミカタ -日常と非日常を支える"便利"のかたち-」

企画2 「しおりのいろどり」

展示期間 : 2025年12月4日(木)～12月16日(火)

展示場所 : 本館2F ムラタアカデミア(クスノキエリア)



### ○鹿田分館

・「鹿田分館の“意外な”本」

生命科学系の専門図書館である鹿田分館にも、実は様々なジャンルの本があります。館内でも離れた場所にあったり、医学とは違う分類番号が付いてあったり、普段は気が付かないそれら“意外な”本たちを紹介する展示です。

展示期間 : 2025年11月1日(土)～

展示場所 : 3階ロビー

・「医師国家試験特集」

毎年2月初めに実施される医師国家試験は、医学科の学生にとって学部6年間の最終目標と言えます。試験を取り巻く環境や問題点、他国の事情など、医師国家試験を論じた資料を集めました。

展示期間 : 2026年1月5日(月)～

展示場所 : 2階ロビー



「鹿田分館の“意外”な本」



「医師国家試験特集」

## ○植物研分館

・「本草学から博物学、そして自然科学へ」

本草学から自然科学へと好奇心で自然に対峙した先人たちの足跡を、当館所蔵の貴重資料を含む本草学や博物学に関連した資料や植物図鑑等で紹介しました。

展示期間 : 2025年11月4日(火)～11月14日(金)

展示場所 : 史料館 1F



## オリエンテーション・データベース講習会実施報告

### ○中央図書館

中央図書館では2025年10月にオリエンテーションやラリー、ガイダンスを開催し、延べ7名の方にご参加いただきました。

2025年10月～2026年2月にはオンラインデータベース講習会等を開催しました。リアルタイムでは延べ61名の方にご参加いただきました。開催後には岡山大学 Moodle を介して記録動画を公開し、2026年2月5日までにオンデマンド配信で延べ84名の方にご覧いただきました。

### オリエンテーション、ラリー

実施日	対象	参加人数
10月9日	新入生	3

### ガイダンス

実施日	講習会名	参加人数
10月14日	文献検索ガイダンス (教員の依頼により授業にて実施)	4

**講習会**

実施日	講習会名	参加人数	視聴者数*
10月22日	レポート作成に役立つ文献の集め方：OU OneSearch 講習会	25	34
12月3日	eol 講習会	10	19
12月3日	CAS SciFinder 講習会	9	8
12月10日	LEX/DB インターネット講習会	4	9
12月10日	JapanKnowledge Lib 講習会	5	14
2月18日	初心者向けプログラミング講習会	8	—

\*2026年2月5日までのオンデマンド配信の視聴者数

**○鹿田分館**

鹿田分館では2025年9月から2026年1月に文献検索等の講習会を開催し、延べ55名の方にご参加いただきました。

**講習会**

実施日	講習会名	参加人数
9月25日	文献検索講習会（オンデマンド開催）	2
12月11日	文献検索へのAI活用	44
1月29日	UpToDate 新機能説明会	9

**○植物研分館**

植物研分館では2025年10月にオリエンテーションを開催し、7名の方にご参加いただきました。

**オリエンテーション**

実施日	対象	参加人数
10月1日	環境生命自然科学研究科新入生	7

## 教員からの寄贈図書リスト

次の方から著書をご寄贈いただきました。ありがとうございました。

<中央図書館>

黒澤修一郎 [学術研究院法務学域]

ロバーツコートの立憲主義 2——成文堂, 2025.7 (327.122/R 51)

竹内正興 [学術研究院共通教育・グローバル領域]

不本意入学になる人とならない人の分岐点：第一志望でなければ不本意なのか  
——広島大学出版会, 2022.2 (376.87/Ta 67)

◎岡山大学出版会からの寄贈図書リスト

仲田研登 [学術研究院教育学域 (数学教育)]

数学教員のための確率論 改訂版——岡山大学出版会, 2025.11 (410.7/N 31)

## 会 議

### ◆学外

- |            |  |            |  |
|------------|--|------------|--|
| 2025.10.17 | おかやま地域発展協議体委員会<br>(於：岡山大学)               | 2025.12.12 | 令和7年度中国四国地区国立大学図書館<br>所管部課長会議 (於：島根大学)           |
| 2025.11.21 | 第61回日本医学図書館協会中国・四国地区<br>総会 (於：高知大学)      | 2025.12.12 | 令和7年度中国四国地区国立大学図書<br>系・学術情報系人事担当課長会議<br>(於：鳥取大学) |
| 2025.11.28 | 令和7年度国立大学図書館協会中国四国地<br>区協会実務者会議 (於：島根大学) |            |  |

### ◆学内

- |                     |  |                      |                                  |
|---------------------|--|----------------------|----------------------------------|
| 2025.9.8<br>～ 9.12  | 令和7年度第2回附属図書館電子ジャーナル<br>等経費検討委員会・電子ジャーナル等選定<br>ワーキンググループ合同会議 (メール会議) | 2025.10.6<br>～ 10.14 | 令和7年度第3回岡山大学出版会編集委<br>員会 (メール会議) |
| 2025.9.17<br>～ 9.19 | 令和7年度第2回岡山大学出版会編集委員会<br>(メール会議)                                      | 2025.11.2<br>～ 12.1  | 令和7年度第4回岡山大学出版会編集委<br>員会 (メール会議) |

## 研 修

- ・プロジェクトマネジメント研修 (9.20、10.25、11.15) ・令和7年度漢籍担当職講習会 (中級)  
参加者 佐々木 雅徳 参加者 水内 勇太 (10.27～10.31)
- ・国際シンポジウム「研究データ管理支援に関する機関・令和7年度国立大学図書館地区協会助成事業  
内・外のネットワーク構築」(10.17) 「貴重資料オープンアクセス促進化ワークショップ」  
参加者 石丸 綾華 参加者 高橋 辰弥 (11.27)
- ・九州大学研究データ管理支援人材育成プログラム ・令和7年度国立大学図書館協会中国四国地区協会  
(10.18～10.19, 11.8, 11.29) 助成事業講演会 (12.15)  
参加者 石丸 綾華 会場 岡山大学図書館中央図書館 本館3F セミナー室
- ・RA 協議会第11回年次大会 (10.21～10.22) ・第3回研究データエコシステム中国四国コンソーシア  
参加者 市地 七実子、高橋 辰弥 ムシンポジウム (12.26)
- ・第27回図書館総合展2025 (10.22～10.23) 参加者 大園 隼彦、石丸 綾華  
参加者 西村 朋子

## 共催・後援

### ◆共催

- ・夏季休暇を活かす 英語多読ワークショップ  
(電子書籍活用編) (8.5、8.6)
- ・図書館ではじめる英語多読ワークショップ  
(実践編) (9.5、9.12、9.26)

### ◆後援

- ・ドキュメンタリー「大人になったヤングケアラー  
～本当に聴きたかった声～」上映会&フリートーク  
(12.18)

## 編集委員から

2025年10月1日から図書館組織は「図書館・公共知共創機構」となりました。それに伴い『楷』の内容もこれまでの図書館に関する内容だけでなく、大学と地域や社会との連携に関する内容まで幅広く含むようになります。

岡山大学の教育・研究成果をこれまで以上に社会に還元できるよう、新しい組織で協力しながら進めていきます。(T.Y.)

岡山大学図書館報「楷」 No. 82 2026年3月1日

編集 広報ワーキング

岡山大学図書館発行

〒700-8530 岡山市北区津島中三丁目1-1

ホームページ URL <https://www.lib.okayama-u.ac.jp>

